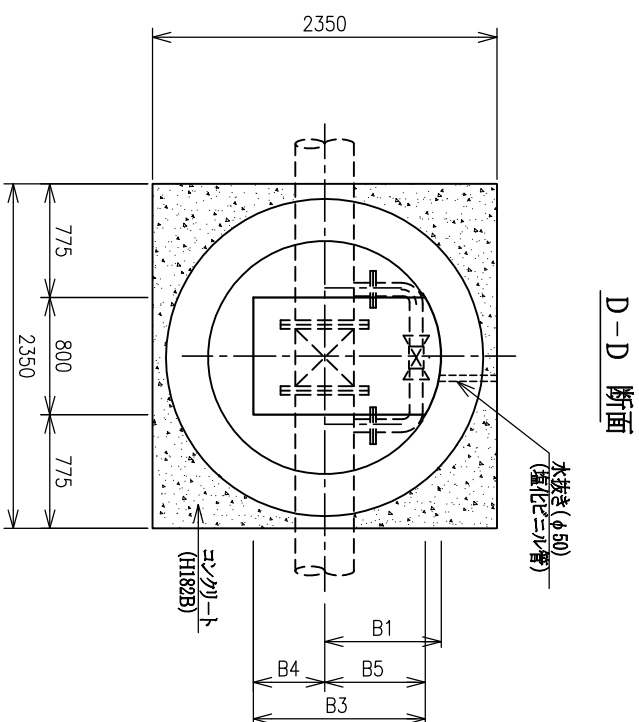
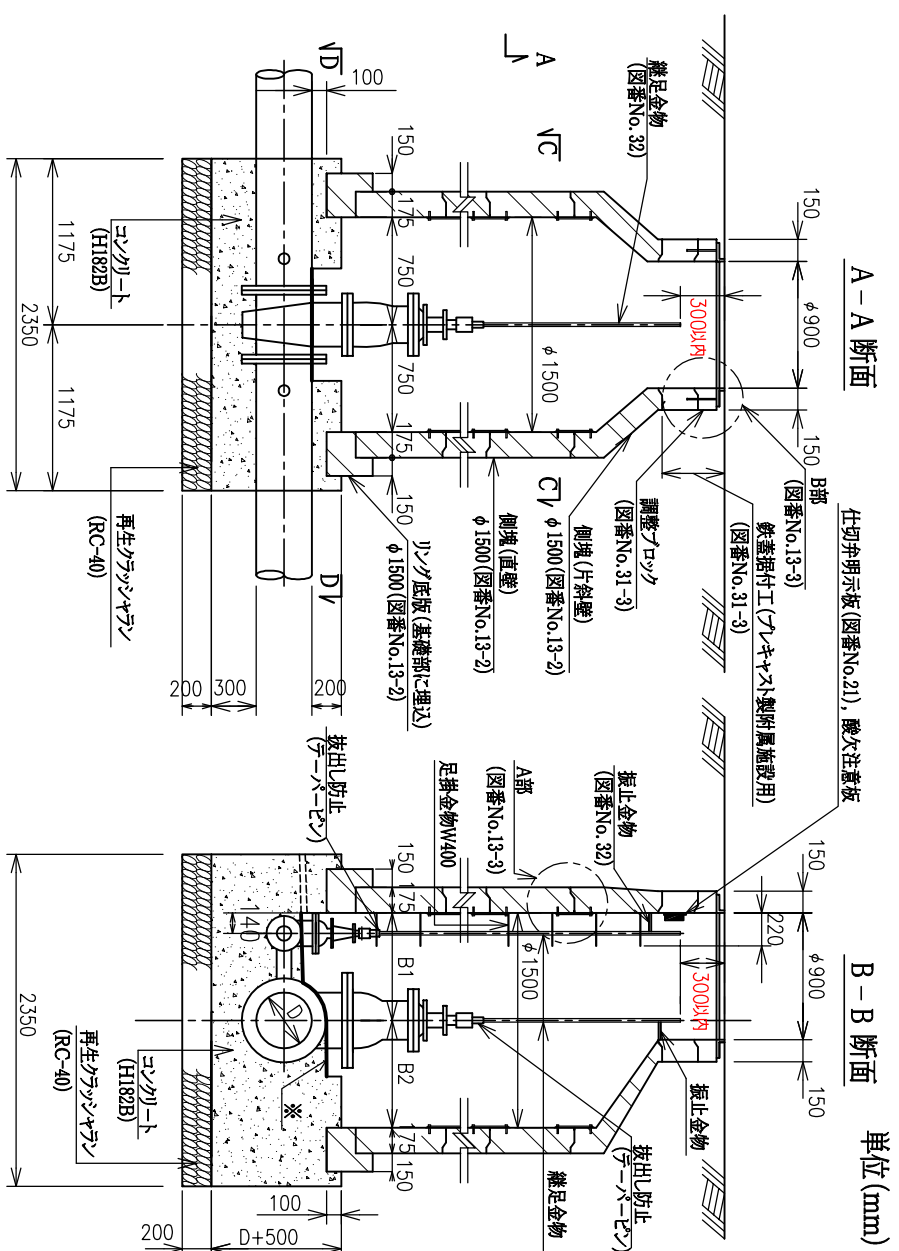
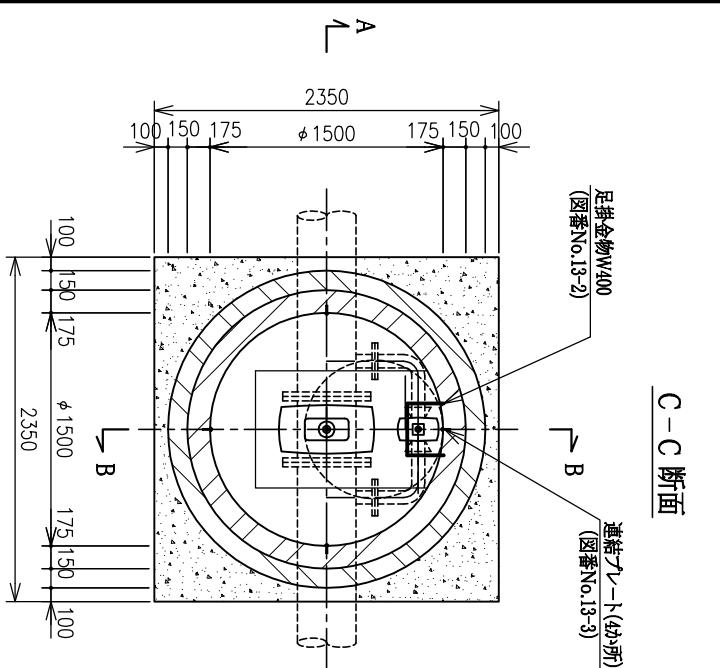


配水管工事標準図 改定の要旨

ページ	改 定 項 目	主 な 改 定 内 容
No.13	プレキャスト製立形制水弁室築造工（呼び径 400～600）その1	○ 開閉軸の深さについて、表記を300mm 以内に見直した。
No.14	プレキャスト製立形制水弁室築造工（呼び径 700～800）	○ 同上
No.17	プレキャスト製立形バタフライ弁室築造工（呼び径 400～600）	○ 同上
No.18	プレキャスト製立形バタフライ弁室築造工（呼び径 700・800）	○ 同上
No.24	プレキャスト製排水設備工（排水室Ⅱ型）	○ 同上
No.26	プレキャスト製排水設備工（排水室Ⅳ型）	○ 同上
No.27	プレキャスト製排水設備工（排水室Ⅴ型）	○ 同上
No.39	プレキャスト製立形制水弁室築造工（呼び径 350 以下）その1	○ 同上
参考 No.9	排水設備工（排水室Ⅱ型）	○ 同上
参考 No.10	排水設備工（排水室Ⅳ型）	○ 同上
参考 No.11	排水設備工（排水室Ⅴ型）	○ 同上
No.22	玉押器対応型急速空気弁室築造工（口径 75・100mm）	○ 足掛金物の設置位置等は調整ブロックや側塊、転落防止プレート等の設置状況により異なるため、備考5の記載等について見直した。
No.23	玉押器対応型急速空気弁室築造工（口径 150・200mm）	○ 同上
No.40	玉押器対応型急速空気弁室築造工斜壁構造タイプ（口径 75mm）その1	○ 同上
参考 No.15	双口空気弁室築造工（口径 75mm）	○ 同上
参考 No.16	双口空気弁室築造工（口径 100～200mm）	○ 同上

※次項以降の改定原稿の赤書きが、今回の改定箇所となります。



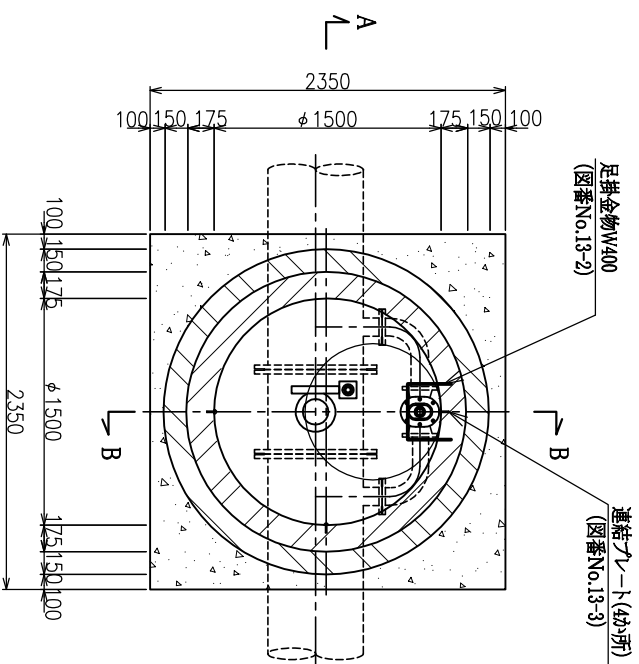
記号	D	400	500	600
B1		710	750	830
B2		790	750	670
B3		995	1085	1215
B4		400	450	500
B5		595	635	715

記号		D		
B1	710	500	750	830
B2	790	750	670	
B3	995	1085	1215	
B4	400	450	500	
B5	595	635	715	

- 3 バルブメーカーにより弁高等が異なる場合があるので、築造に当たっては尺寸を確認する。
- 4 副弁弁室上期は、パイプを交換するのためコンクリートには埋め込まない。
- 5 弁のセパルム(キヤプ)には、白色蛍光塗料を塗布する。

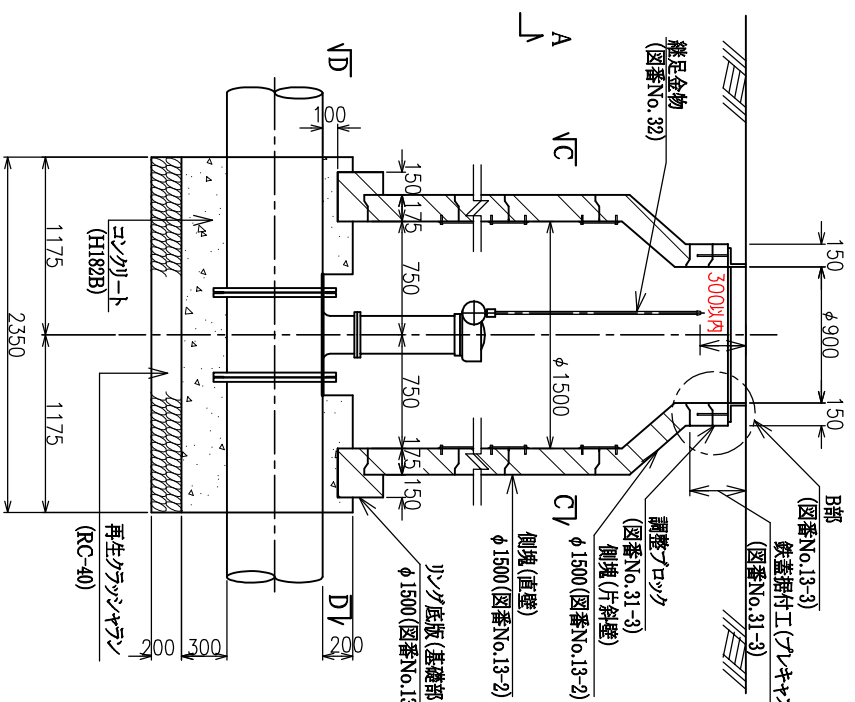
標準図番号	No.13
標準図名称	ポリエステル製立形制水弁室築造工 (呼び径400～600)その1

C-C 断面



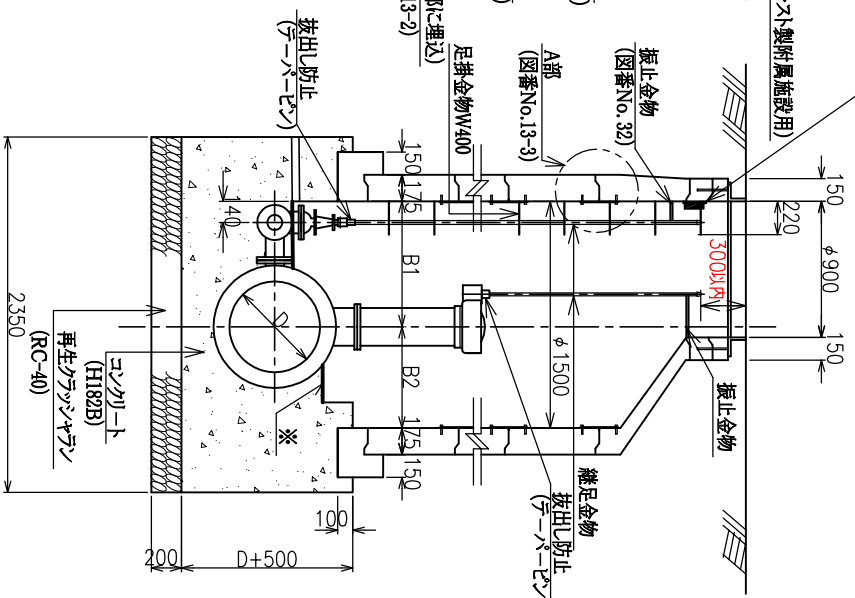
A-A 断面

仕切弁明示板(図番No.21),酸欠注意板

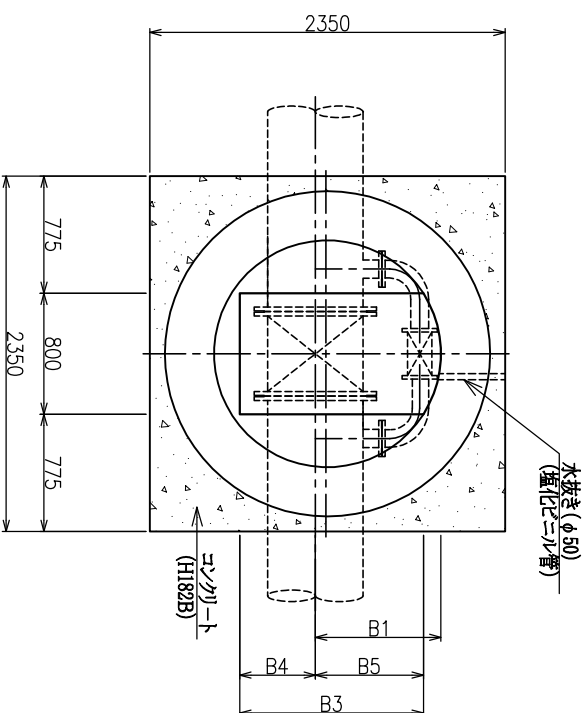


B-B 断面

单位(mm)



D-D 断面



寸法表

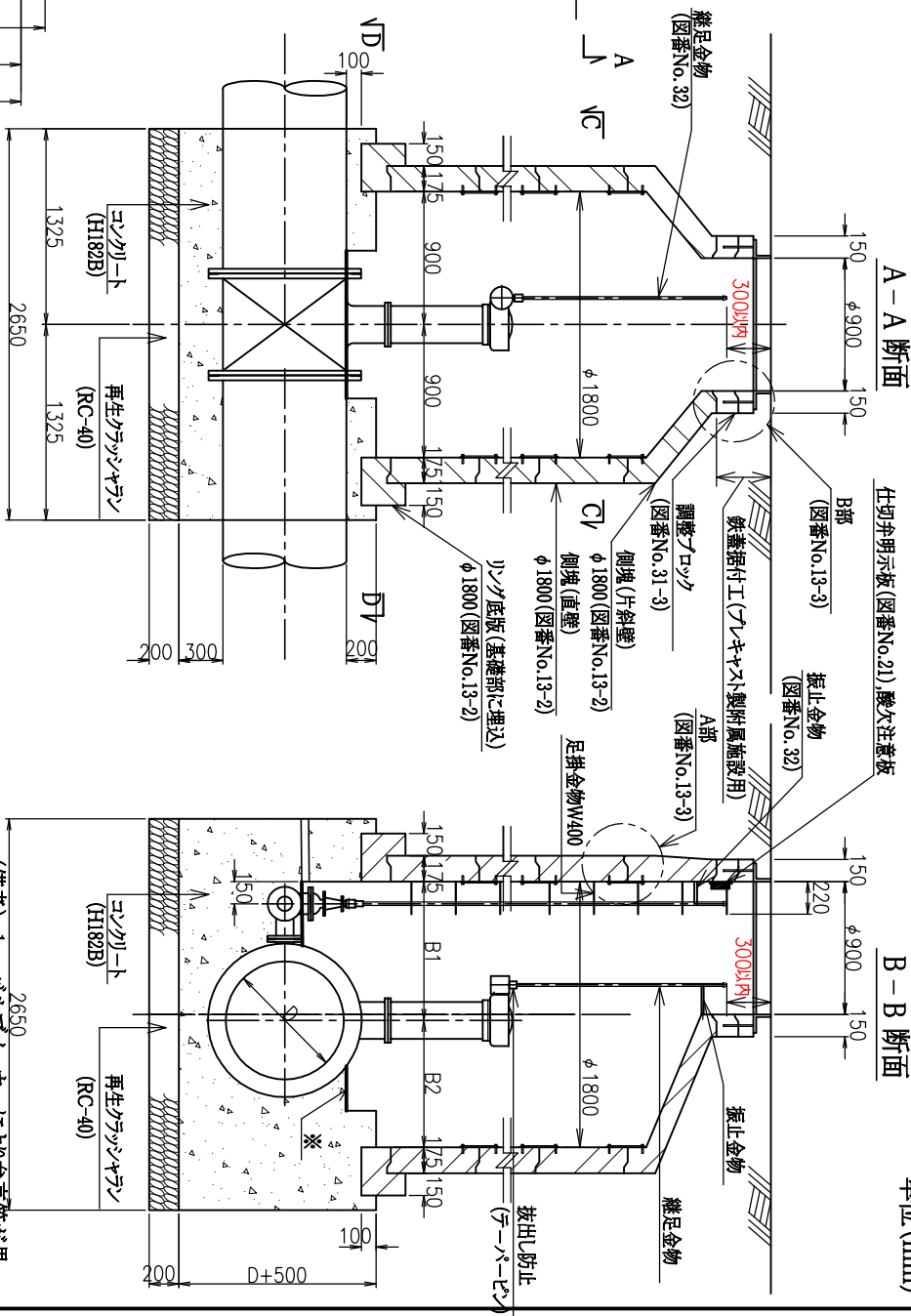
D \ 記号	400	500	600
B1	710	750	830
B2	790	750	670
B3	995	1085	1215
B4	400	450	500
B5	595	635	715

※ コンクリート高さは、管天端までとし、排水のため勾配をつける。

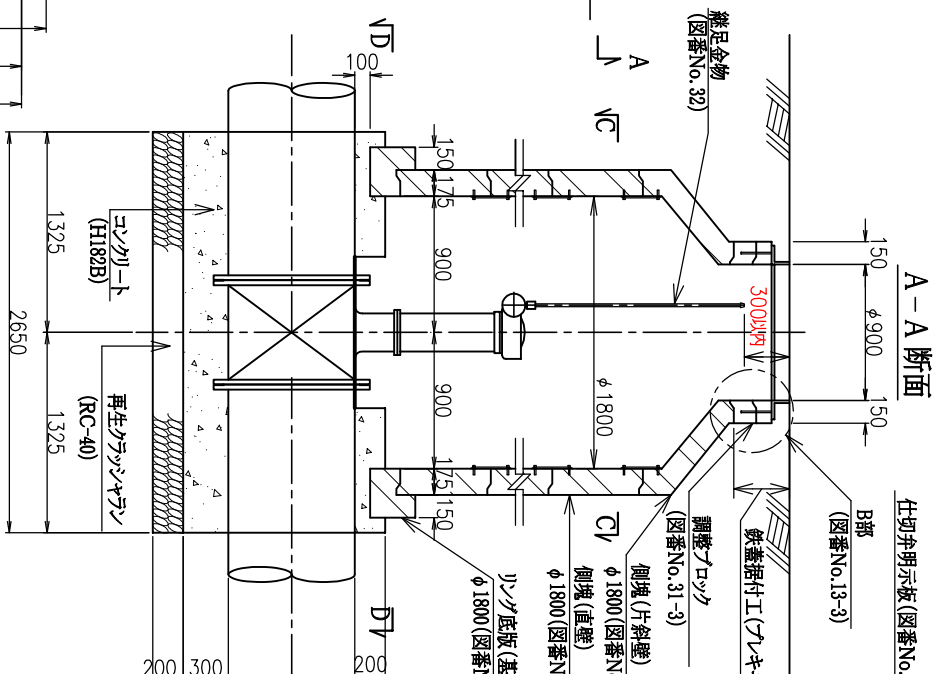
標準図番号	No.17
標準図名称	フエキヤスト製立形バタフライ弁室築造工 (呼び径400～600)

単位(mm)

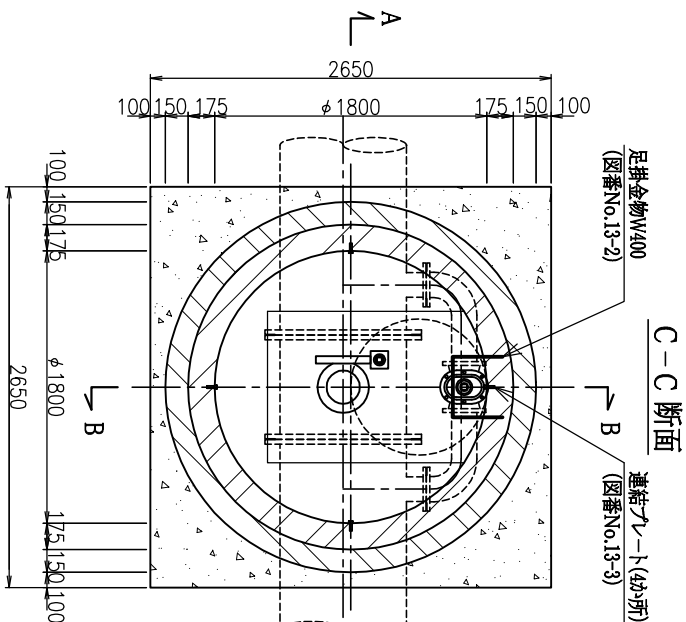
B-B断面



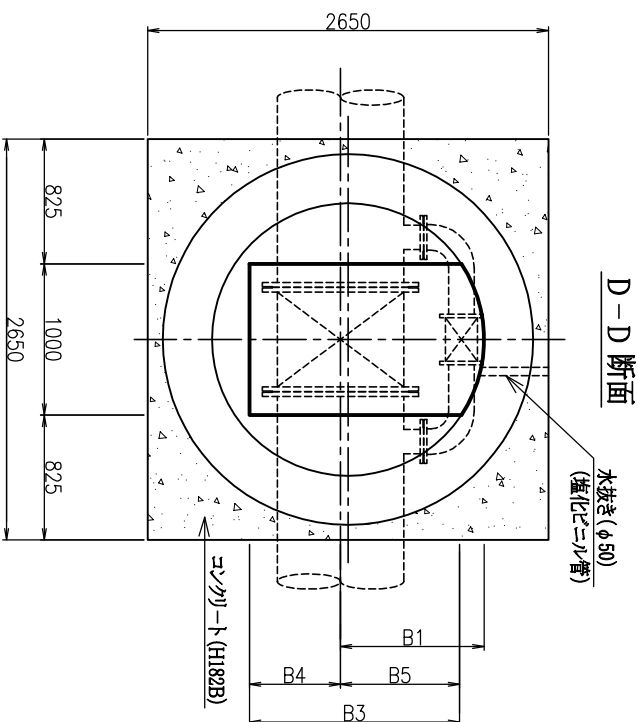
A-A断面



C-C断面



D-D断面



寸法表

記号	D	700	800
B1		880	940
B2		920	860
B3		1280	1390
B4		550	600
B5		730	790

※ コツクリト高さは管天端までとし、排水のため勾配をつける。

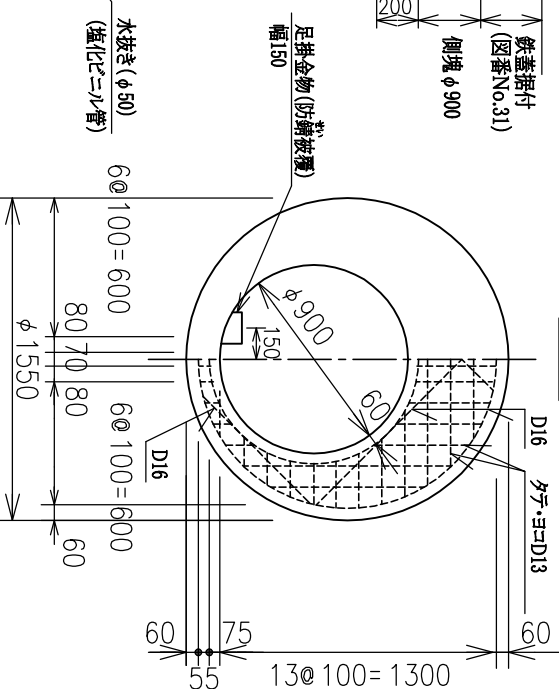
- (備考) 1 バルブメーカーにより弁高等が異なる場合があるので、築造に当たっては原寸を確認する。
特に、スピンドルの位置が異なるので注意する。
2 副弁弁室上部は、バッキンの交換のためコツクリトには埋め込まない。
3 水抜きは、地下水位が高い場所には設置してはならない。
4 弁のスピンドル(キヤツツ)には、白色塗料を塗布する。

標準図番号 No.18

標準図名称 プレキャスト製立形バツライ弁室築造工 (呼び径700・800)

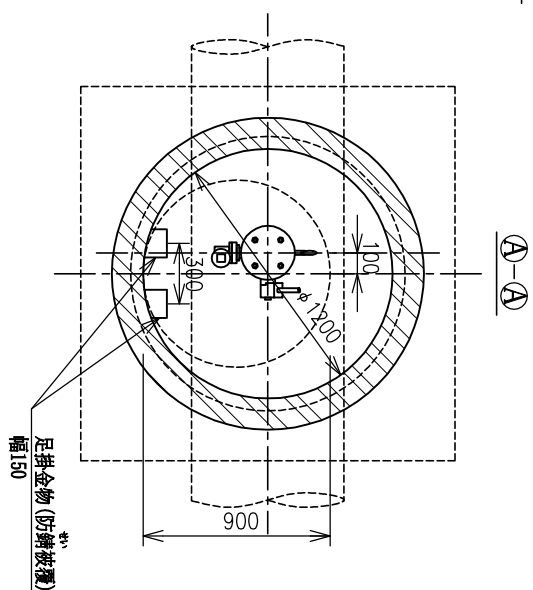
東京都水道局

单位(mm)



頂版

(備考) 1 本図は、呼び径250から900までの配水本管に適用する。
ただし、人孔T字管使用の場合も本図に準ずる。
2 呼び径と空気弁口径について



平
面
図

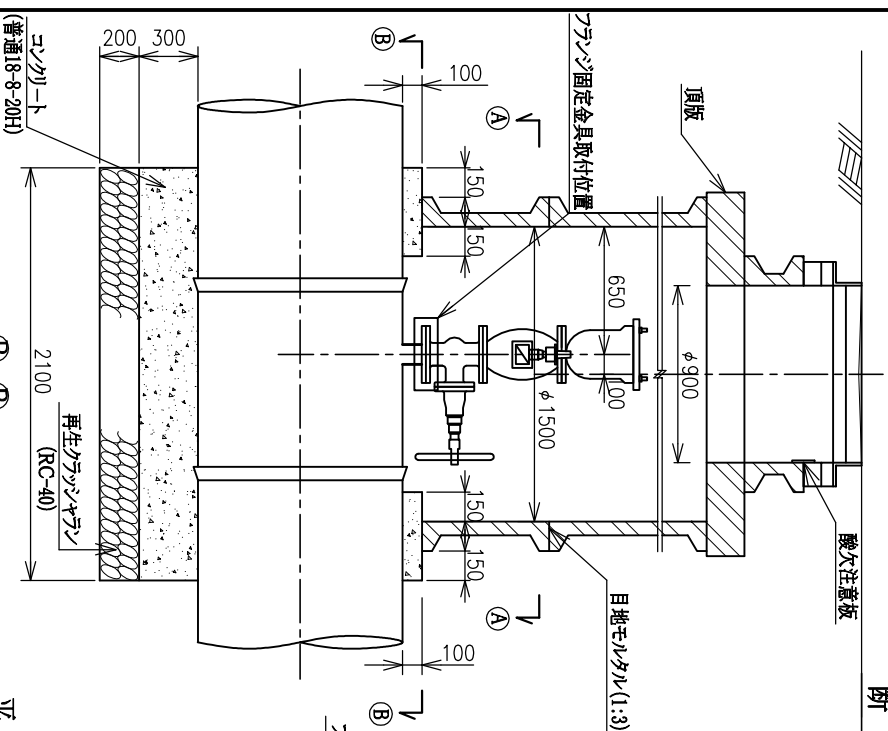
A-A

- 3 側塊は、プレキャストコンクリート製品 (JIS A 5312) の600Hと300Hとを組み合わせて使用する。ただし、側塊 (φ 1200) の300Hを使用する場合は、最下段に設置する。
- 4 調整アロッキングの高さが300mmを超える場合は、頂版の上部に側塊 (φ 900) の設置を検討する。その際、最下段には300Hを使用し、足掛金物の配置に注意する。
- 5 **最上段の足掛金物は、地表から安全に昇降できるように考慮して設置するとともに、足掛金物の設置間隔は300mm程度とする。**
- 6 空気弁と頂版との離隔は、300mm以上を確保する。
- 7 水抜きパイプは、地下水位の高い場所には設置してはならない。
- 8 () は、呼び径250から350までに適用する。

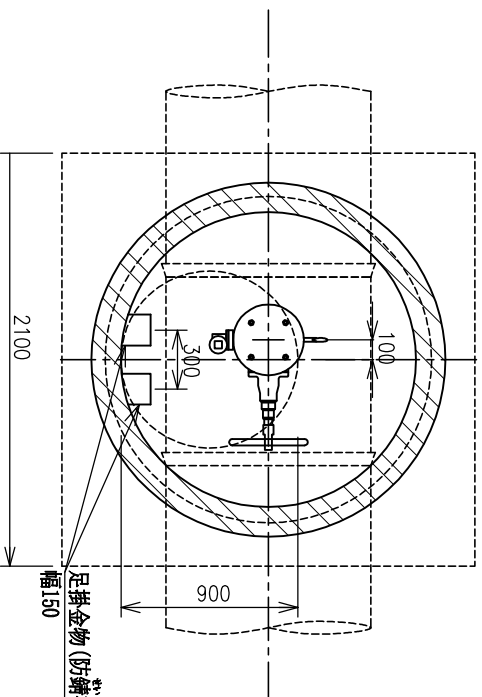
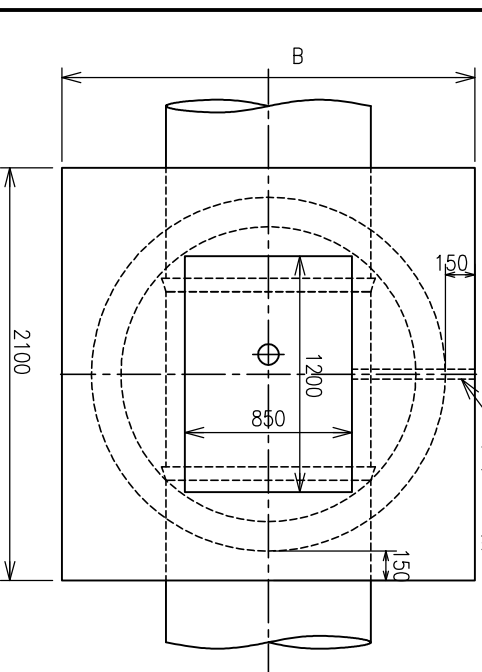
呼び径	急速空気弁口径
250~600	75
700~900	100

標準図番号	No.22
標準図名称	玉柙器対応型急速空気弁装置工 (口径75mm・100mm)

断面図

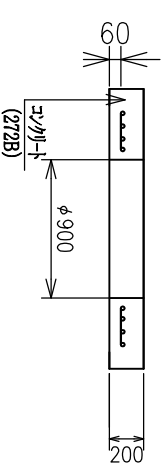
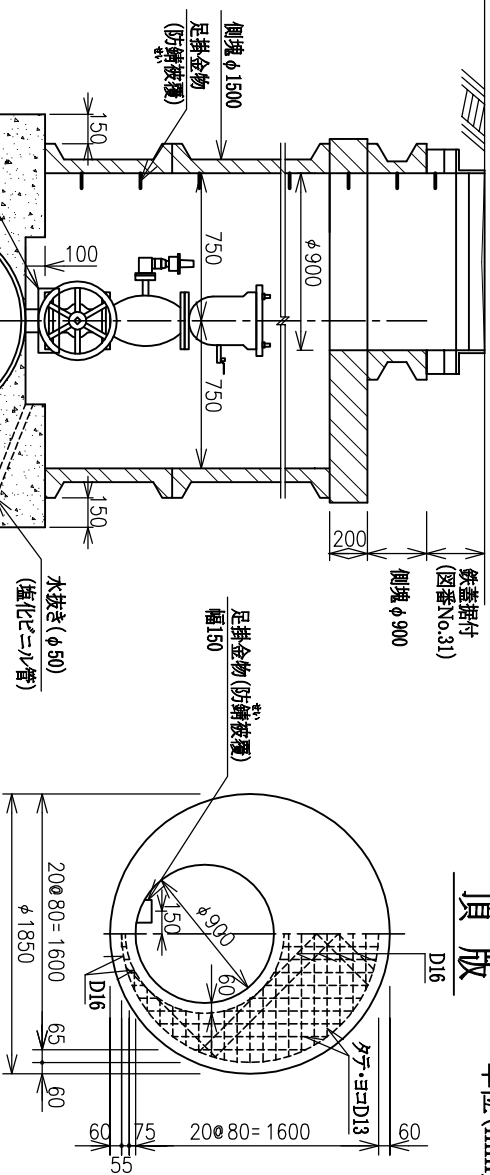


平面図



頂版

単位(mm)



(備考) 1 本図は、呼び径1000以上に通用する。ただし、人孔T字

管使用の場合も本図に準ずる。

2 呼び径と空気弁口径について

呼び径	急速空気弁口径
1000～1500	150
1600以上	200

3 基礎コンクリート幅(B)について

呼び径	B
1500以下	2100
1600以上	D+600

4 側塊は、プレキャストコンクリート製品 (JIS A 5372) の600Hと300Hとを組合せて使用する。ただし、側塊 (φ 1500) の300Hを使用する場合は、最下段に設置する。

5 調整ノロツクの高さが300mmを超える場合は、頂版の上部に側塊 (φ 900) の設置を検討する。その際、最下段には、300Hを使用し、足掛金物の配置に注意する。

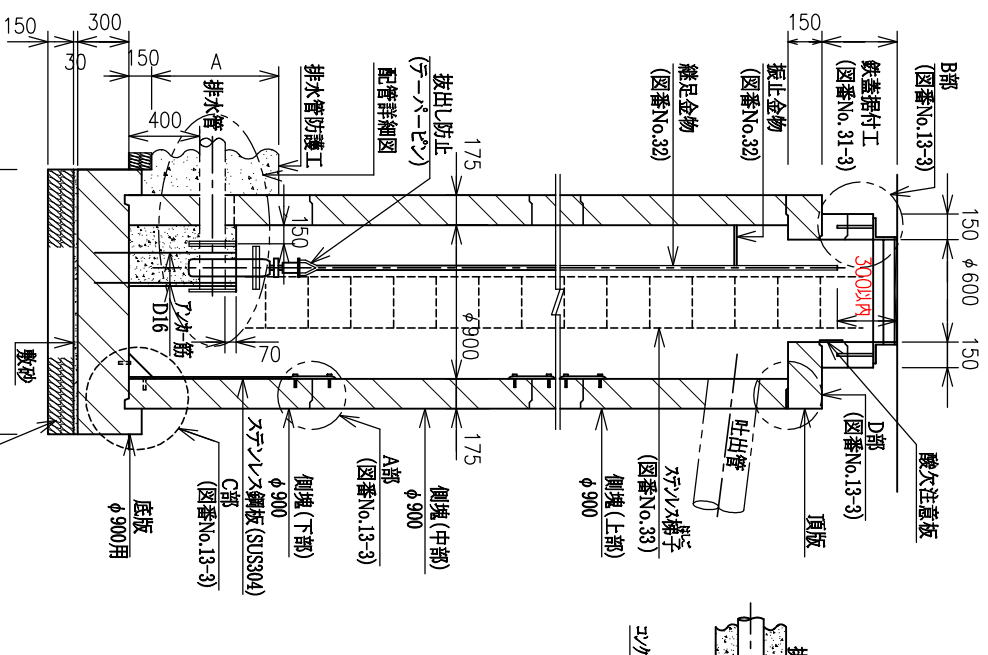
6 最上段の足掛金物は、地表から安全に昇降できるよう配慮して設置するとともに、足掛金物の設置間隔は800mm程度とする。

7 空気弁と頂版との離隔は、300mm以上を確保する。

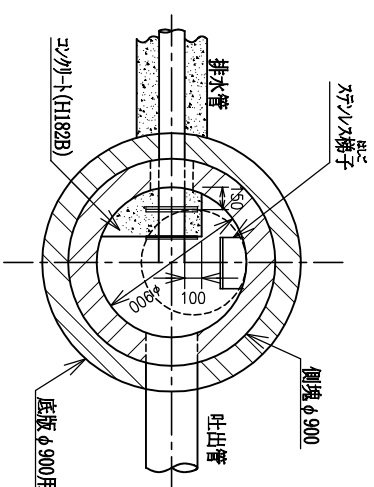
8 空気弁口径150mm以上はフランジ仕切弁(ハベドル式)とする。

標準図番号	No.23
標準図名称	玉押器対応型急速空気弁室築造工 (口径150mm・200mm)
東京都水道局	

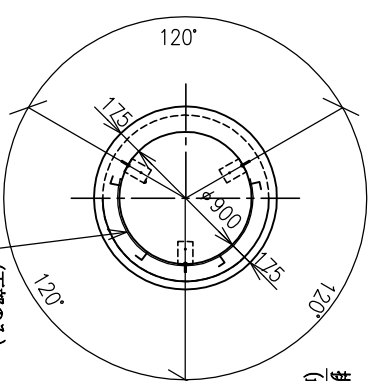
断面図



平面图

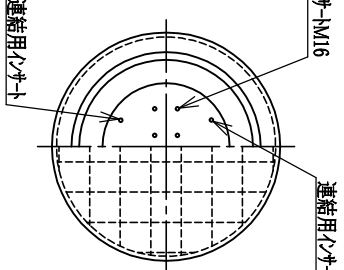


側塊

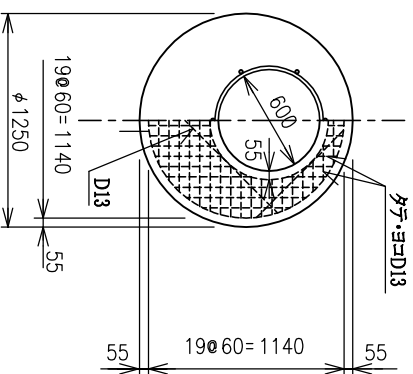


底版

单位(mm)

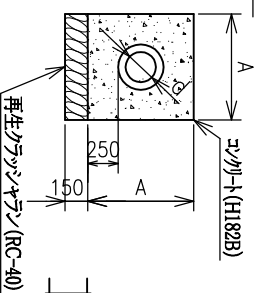


頂版

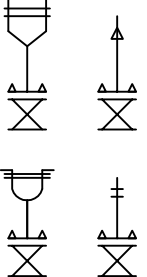


排水管防護工

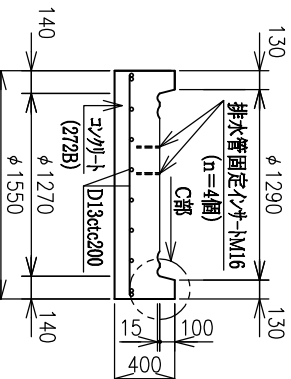
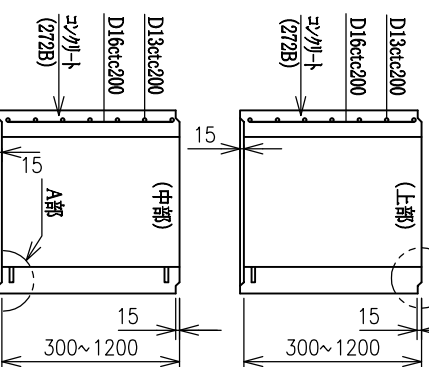
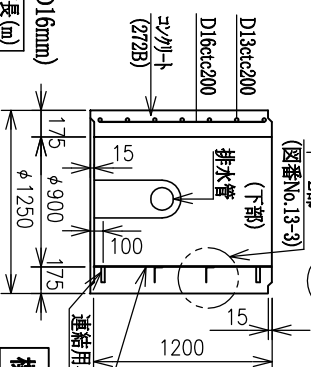
呼気	d	A
200~300	100	600
350	150	650



圖解詳細配



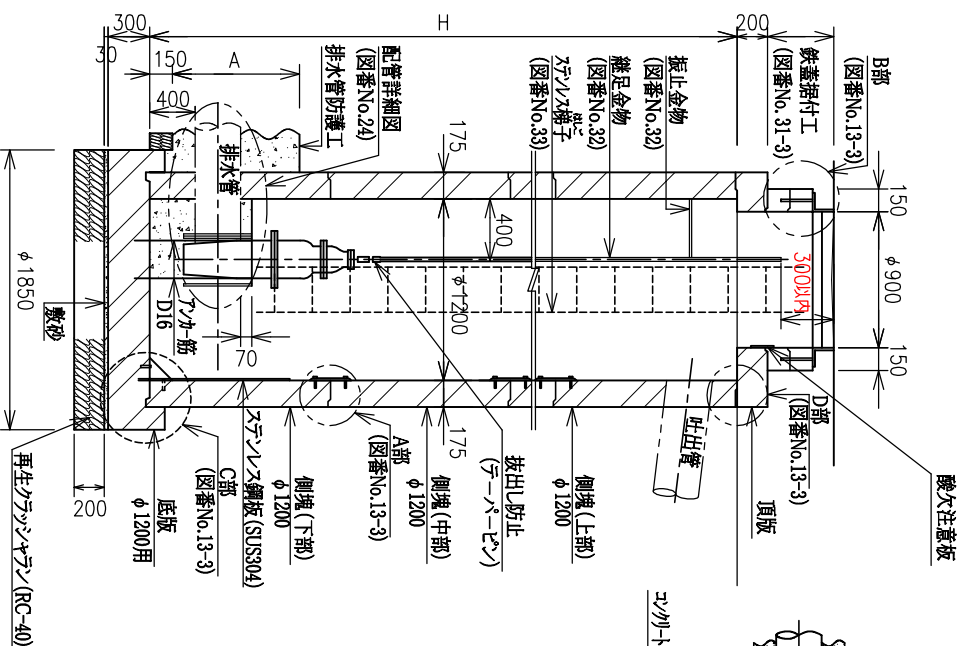
排水弁呼び径	鉄筋長(m)
100	0.714
150	0.872



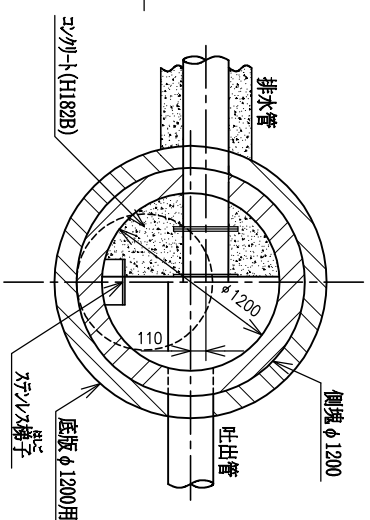
- (備考) 1 本図は小管用の排水室(排水管径 $\phi 100 \sim 150$)に適用する。
- 2 吐水管の径は、排水管の径の2倍程度とし、管理者と協議して定める。
- 3 インサートは底板配筋と溶接する。
- 4 アンカー筋と排水弁固定用鉄筋とは溶接する。
- 5 側塊下部の切欠部の大きさは、貫通部の排水管外径により決定し、側塊の据付け及び配管作業に支障とならないようにする。
- 6 弁のセメント(モルタル)には、白色蛍光塗料を塗布する。

標準図番号	No.24
標準図名称	プラスチック製排水設備工(排水室Ⅱ型)
東京都水道局	

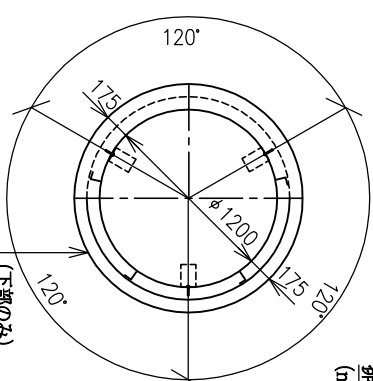
断面図



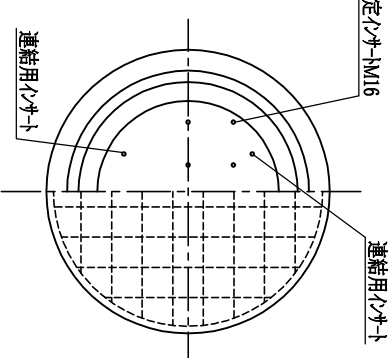
平面図



側塊

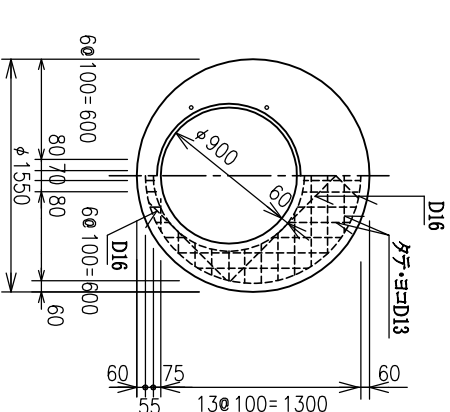


底板



単位(mm)

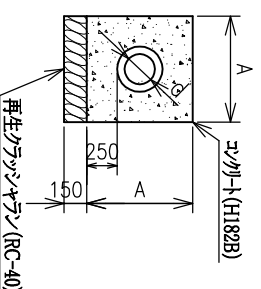
頂版



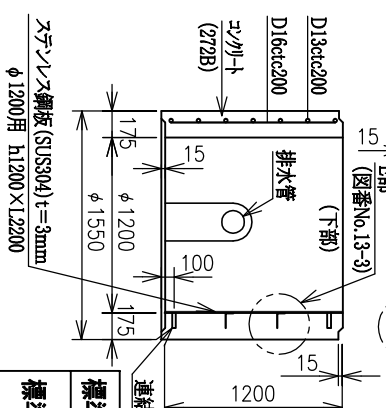
排水管防護工

寸法表

呼び径	d	A
400	150	650
500~600	200	700
700~2400	300	800



排水弁固定鉄筋(D16mm)	
排水弁呼び径	鉄筋長 (m)
150	0.872
200	1.028
300	1.342



標準図番号	No.26
標準図名称	ナレキヤスト製排水設備工(排水室Ⅳ型)

東京都水道局

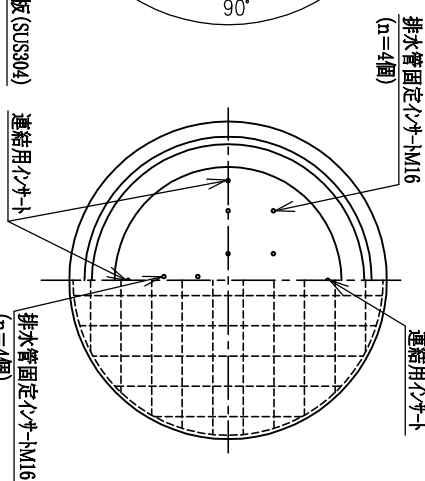
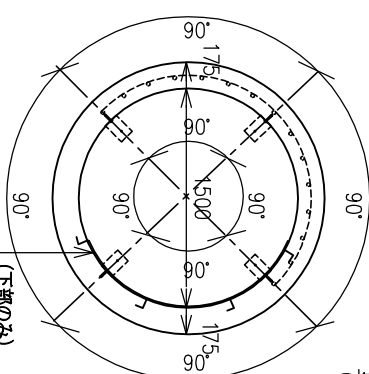
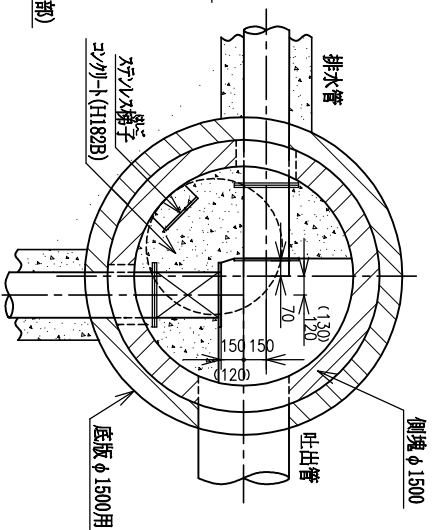
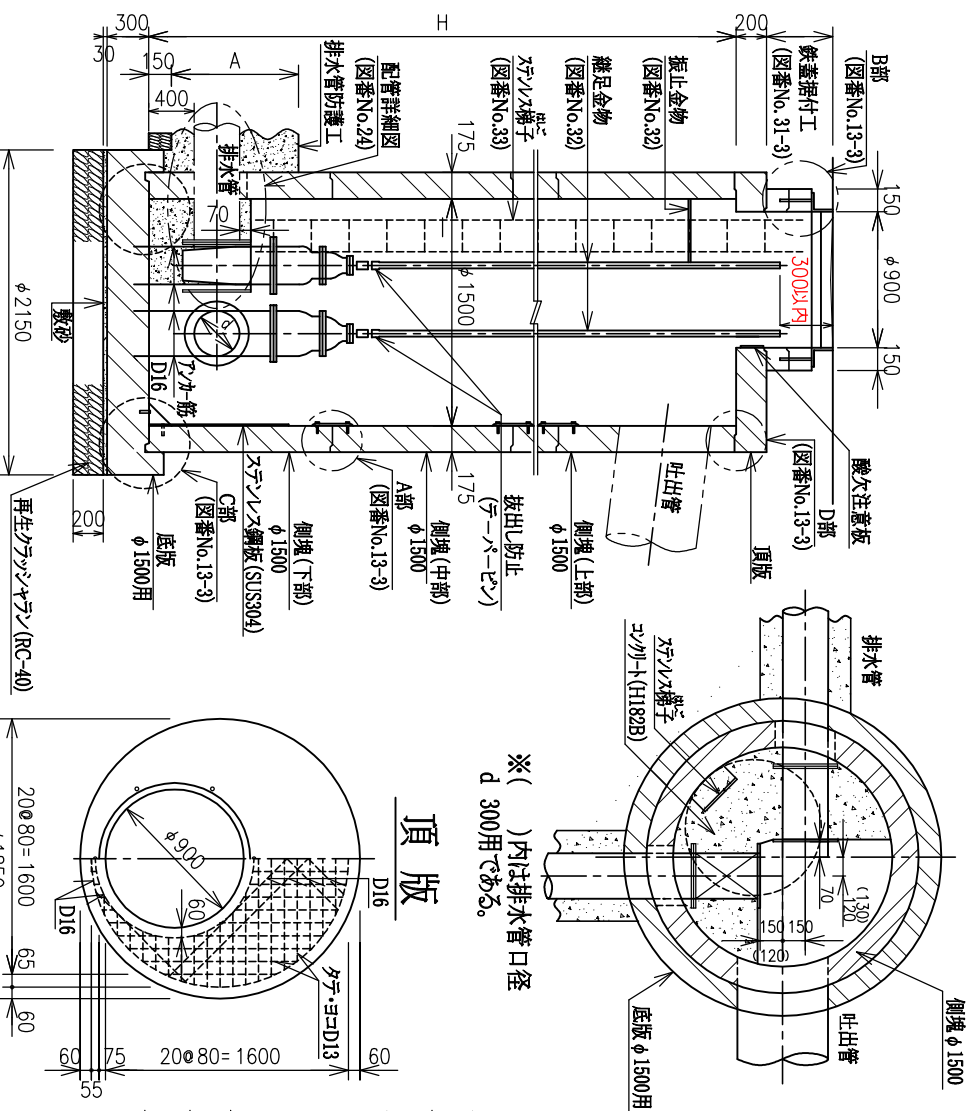
断面图

平面图

側塊

底版

单位(mm)



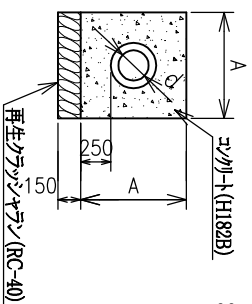
頂版

※()内は排水管口径
d 300用である。

表法寸

呼気径	d	A
400	150	650
500~600	200	700
700~2400	300	800

排水管防護工



排水弁固定鉄筋(D16mm)

23

15

15

300

排水弁呼び径	鉄筋長 (mm)
150	1,744
200	2,056
300	2,684

Technical drawing of a stainless steel plate. The drawing shows a rectangular plate with a central circular hole. Dimensions are indicated in millimeters (mm):

- Overall width: $\phi 1850$
- Overall height: 1750
- Distance from top edge to center of hole: 175
- Distance from bottom edge to center of hole: 175
- Radius of the central hole: $\phi 1500$
- Distance from right edge to center of hole: 100
- Distance from right edge to center of hole (alternative dimension): 15
- Distance from right edge to center of hole (alternative dimension): 272B

Labels and specifications:

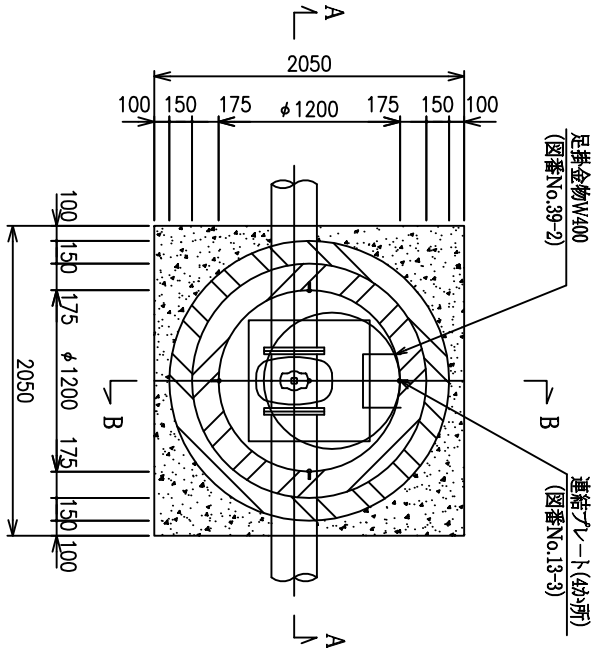
- Material: ステンレス鋼板 (SUS304) $t=3\text{mm}$
- Size: $\phi 1500$ 用 $h1200 \times L1700$
- Labels: 標準 (Standard), 連結用 (For connection)

7	はこの長さが10m以上になる場合は、別途、5m以内ごとに隅り場を設ける等の安全対策を検討する。
サート	
番号	No.27
名称	プラスチック製排水設備工(排水室V型)

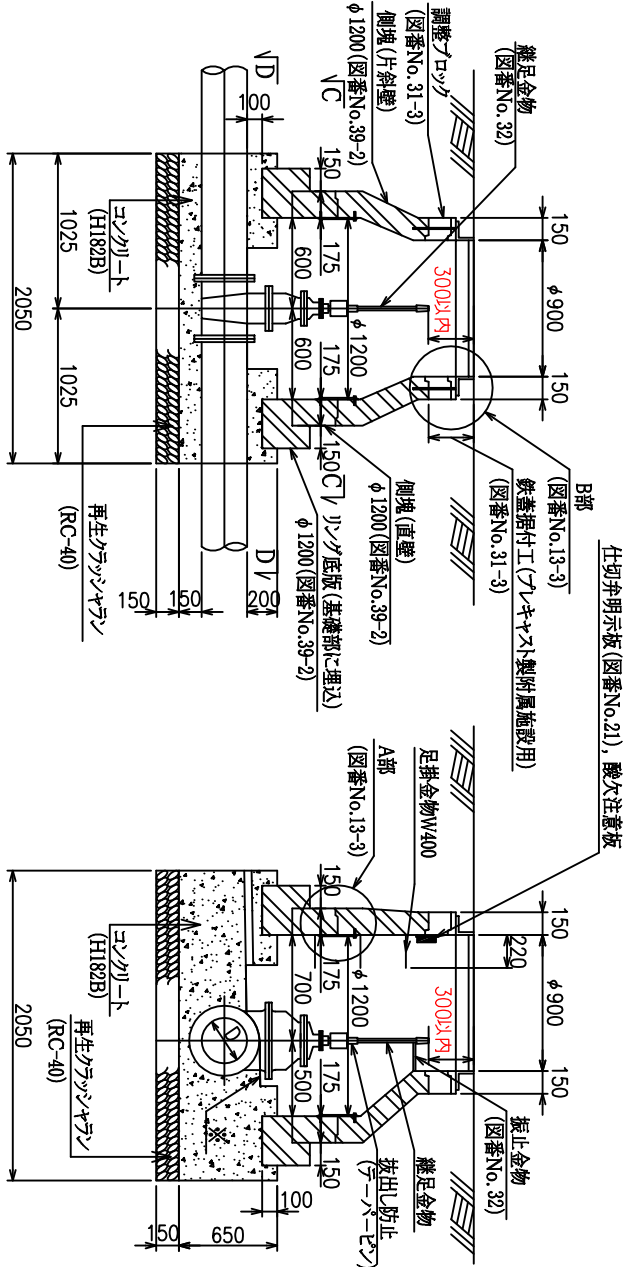
東京都水道局

東京水道局

C-C 断面

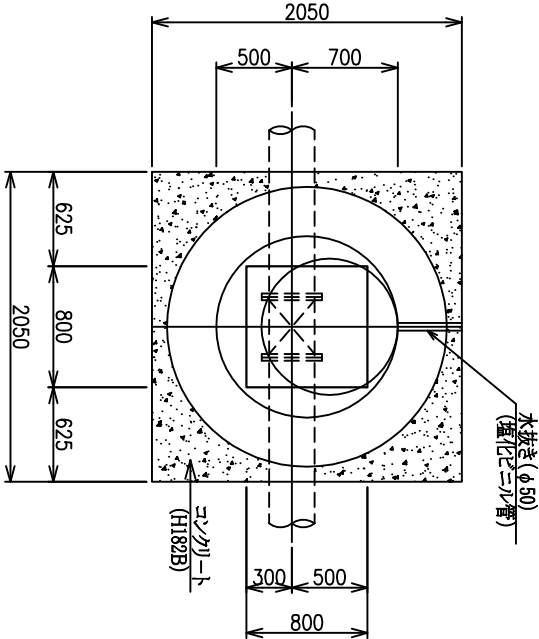


A-A 断面



B-B 断面 単位(mm)

D-D 断面

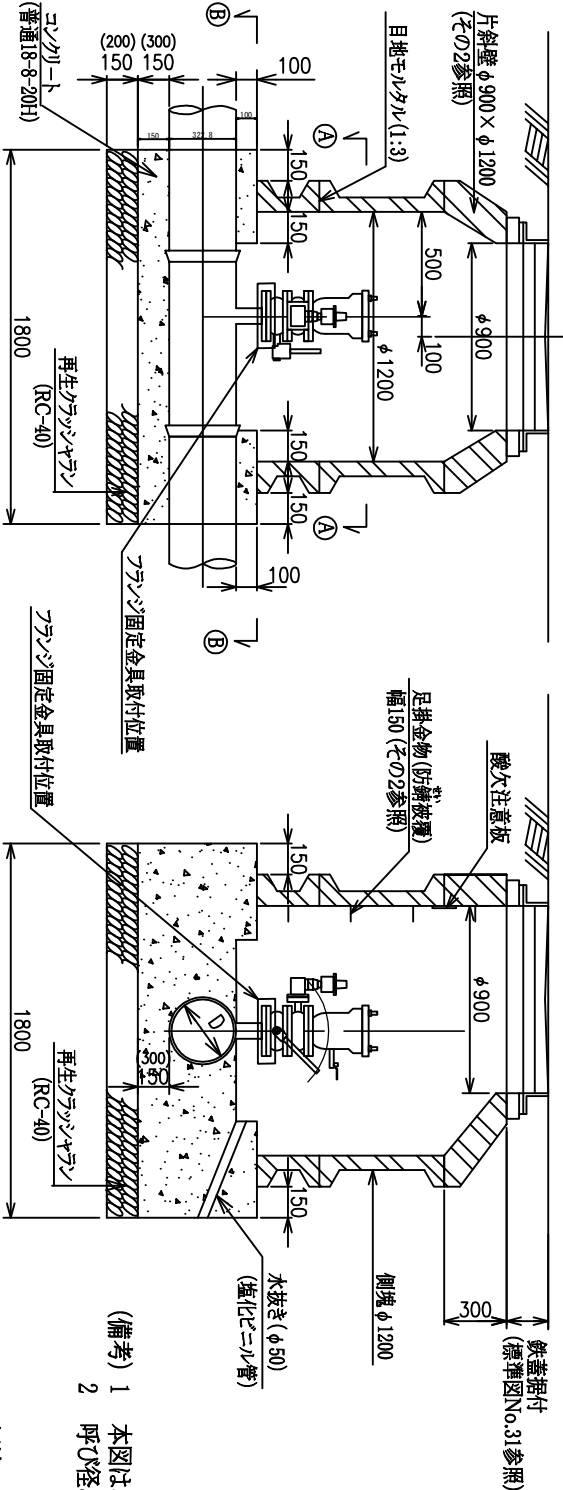


※ コンクリート高さは、管天端までとし、排水のため勾配をつける。

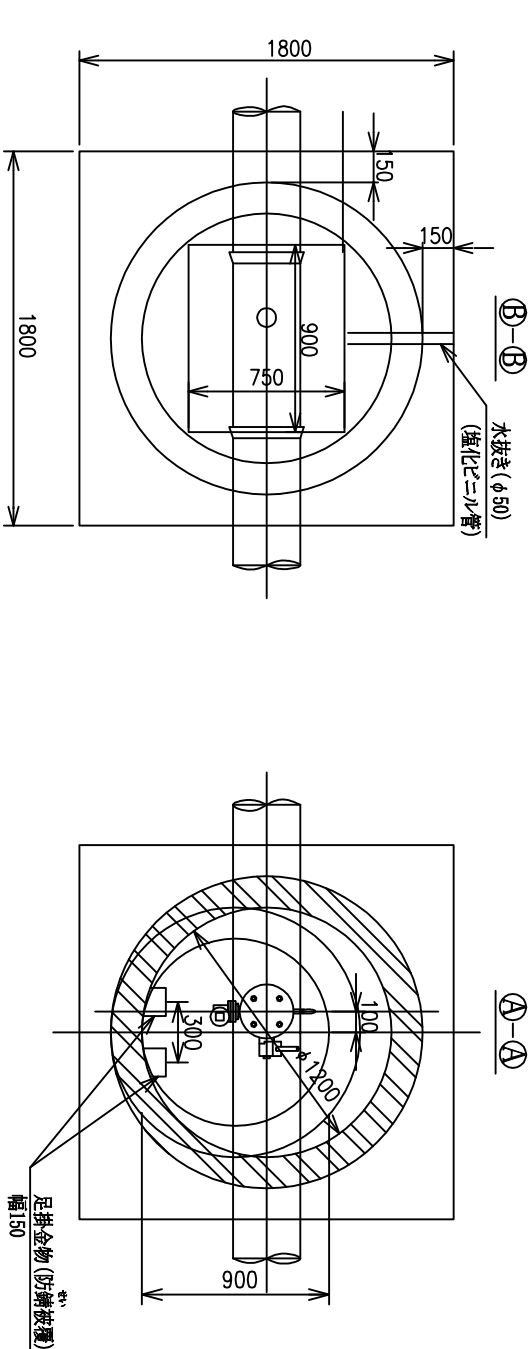
- 1 本図は、呼び径250から350までに適用する。
- 2 水抜きは、地下水位の高い場所に設置してはならない。
- 3 バルブメーカにより弁高等が異なる場合があるので、築造に当たっては原寸を確認する。
- 4 弁のシールパッキン(キャフ)には、白色蛍光塗料を塗布する。

標準図番号	No.39
標準図名称	プレキャスト製立形制水弁室築造工 (呼び径350以下)その1
東京都水道局	

断面図



平面図



(備考) 1 本図は、呼び径250から600までの配水本管に適用する。
2 呼び径と空気弁口径について

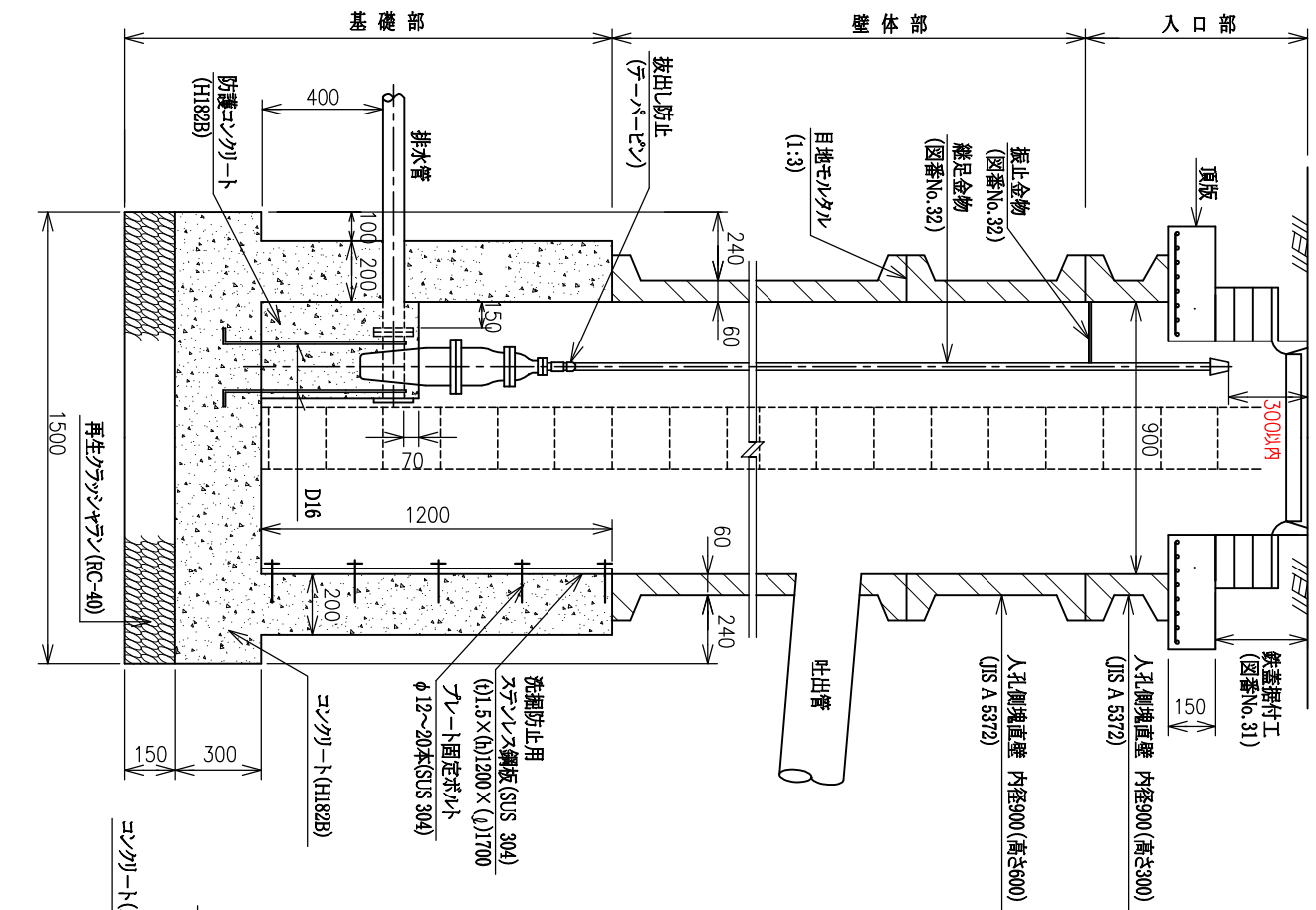
呼び径	急速空気弁口径
250～600	75

- 側塊は、プレキャストコンクリート製品 (JIS A 5372) の600Hと300Hとを組み合わせて使用する。ただし、側塊(φ1200)の300Hを使用する場合は、最下段に設置する。
- 調整ブロックの高さが300mmを超える場合は、斜壁の上部に側塊(φ900)の設置を検討する。その際、最下段には300Hを使用し、足掛金物の配置に注意する。
- 最上段の足掛金物は、地表から安全に昇降できるように配慮して設置するとともに、足掛金物の設置間隔は30cm程度とすること。
- 水抜きパイプは、地下水位の高い場所には設置してはならない。
- 本図は、土被りが1.5m程度の場合に適用できるものとするが、土被りが深くなる等の場合は、原則として標準図No.22の空気弁室とする。
- 8 () は、呼び径400から600までに適用する。

標準図番号	No.40
標準図名称	玉柵器対応型急速空気弁室築造工 斜壁構造タイプ(口径75mm)その1

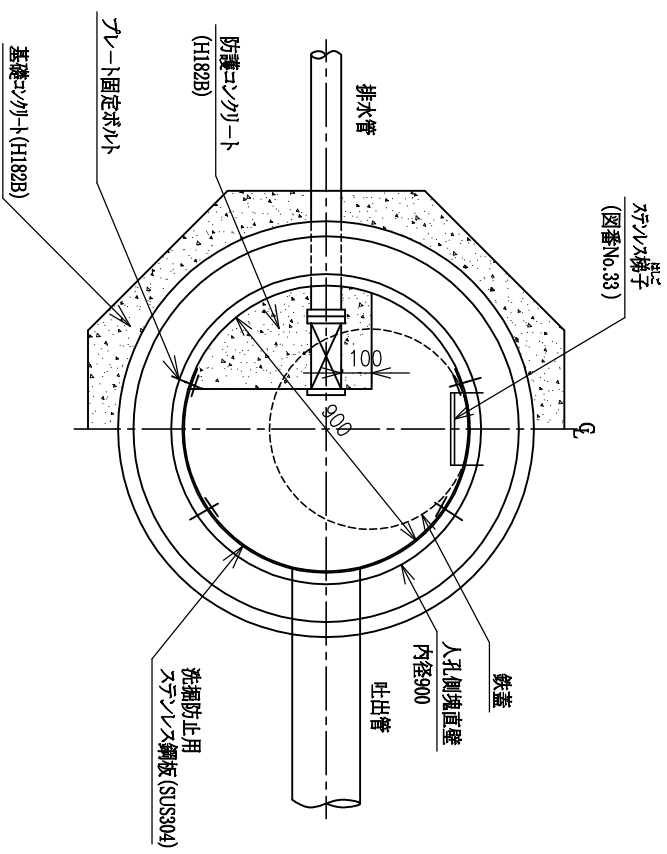
東京都水道局

断面図

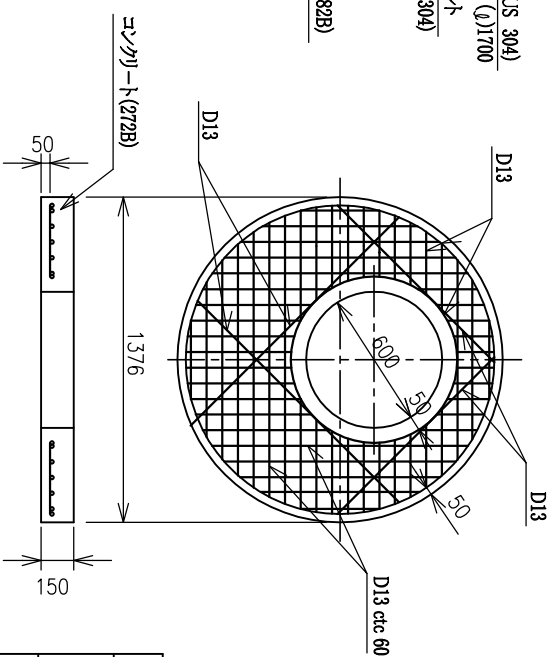


平面图

単位(mm)



頂版



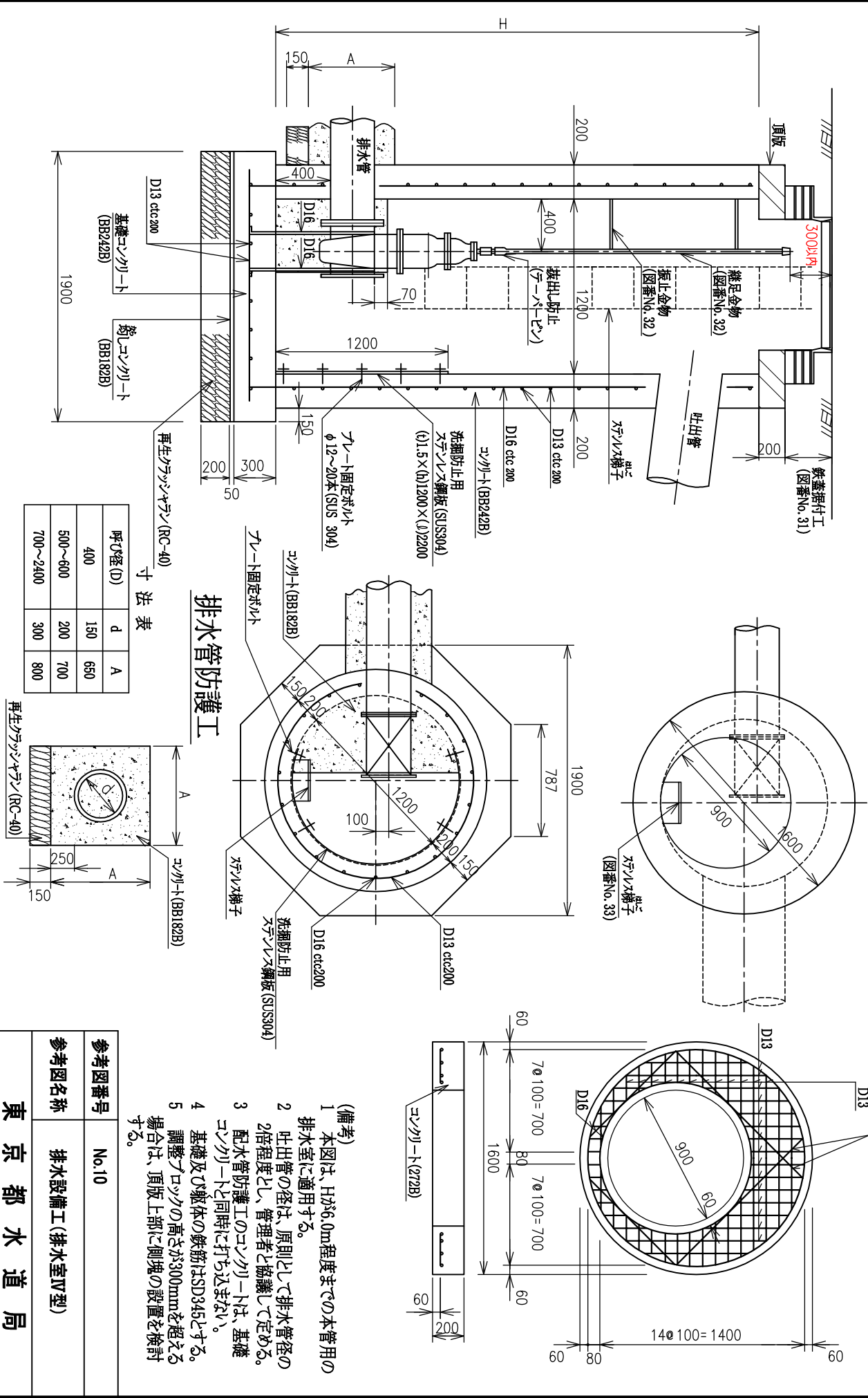
- (備考)
- 1 本図は、小管用の排水室に適用する。
 - 2 吐出管の径は、原則として排水管径の2倍程度とし、管理者と協議して定める。
 - 3 防護コンクリートは、基礎コンクリートと同時に打ち込まない。

参考図番号	No.9
参考図名称	排水設備工(排水室Ⅱ型)
東京都水道局	

断面図

平面図

頂版



排水管防護工

寸法表

呼び径 (D)	d	A
400	150	650
500~600	200	700
700~2400	300	800

- (備考)
- 1 本図は、Hが6.0m程度までの本管用の排水室に適用する。
 - 2 吐出管の径は、原則として排水管径の2倍程度とし、管理者と協議して定める。
 - 3 配水管防護工のコンクリートは、基礎コンクリートと同時に打ち込まない。
 - 4 基礎及び躯体の鉄筋はSD345とする。
 - 5 調整ブロックの高さが300mmを超える場合は、頂版上部に側塊の設置を検討する。

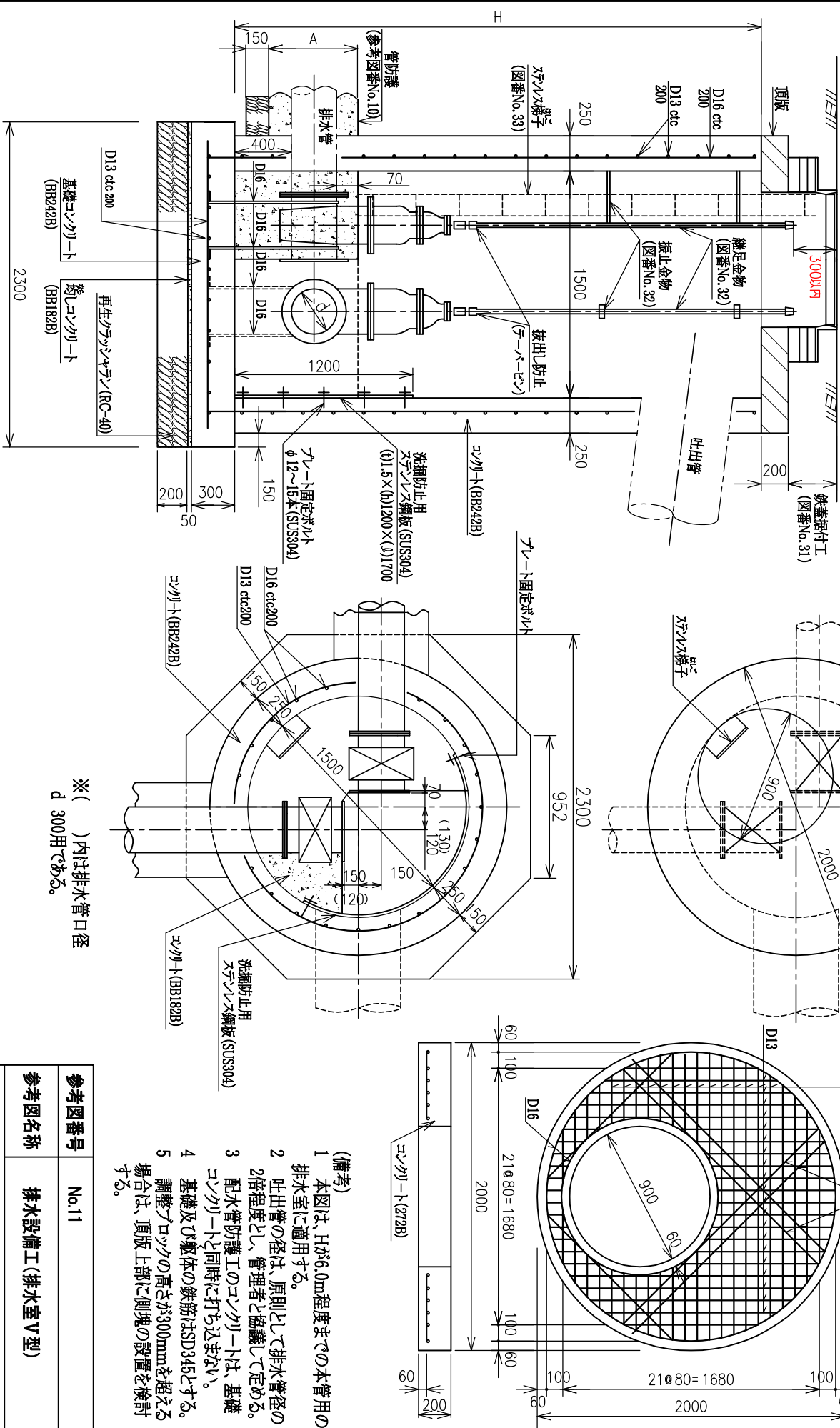
参考図番号	No.10
参考図名称	排水設備工(排水室Ⅳ型)
東京都水道局	

断面図

平面図

頂版

単位(mm)



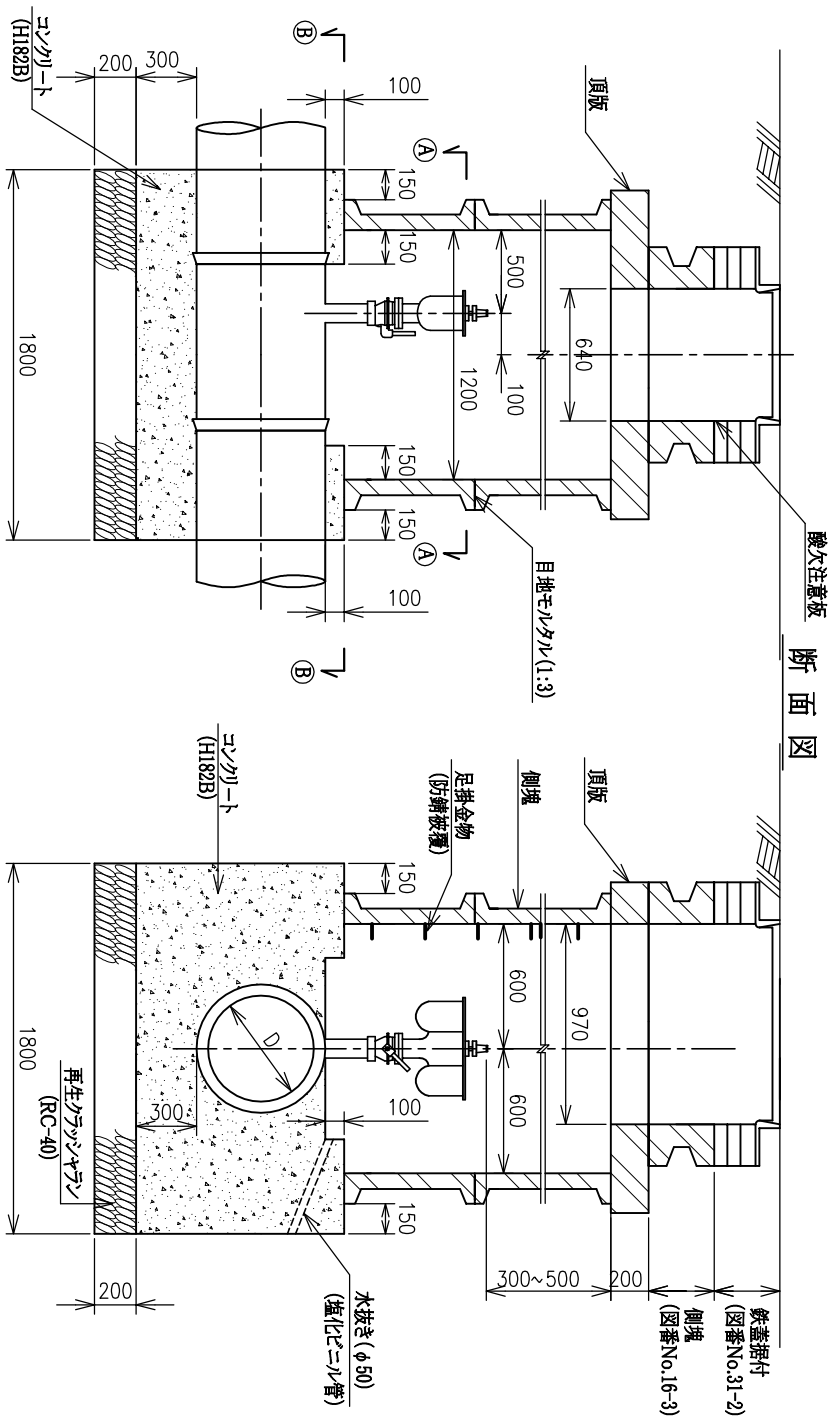
※()内は排水管口径
d 300用である。

- (備考)
- 1 本図は、Hが6.0m程度までの本管用の排水室に適用する。
 - 2 吐出管の径は、原則として排水管径の2倍程度とし、管理者と協議して定める。
 - 3 配水管防護工のコンクリートは、基礎コンクリートと同時に打ち込まない。
 - 4 基礎及び躯体の鉄筋はSD345とする。
 - 5 調整ブロックの高さが300mmを超える場合は、頂版上部に側塊の設置を検討する。

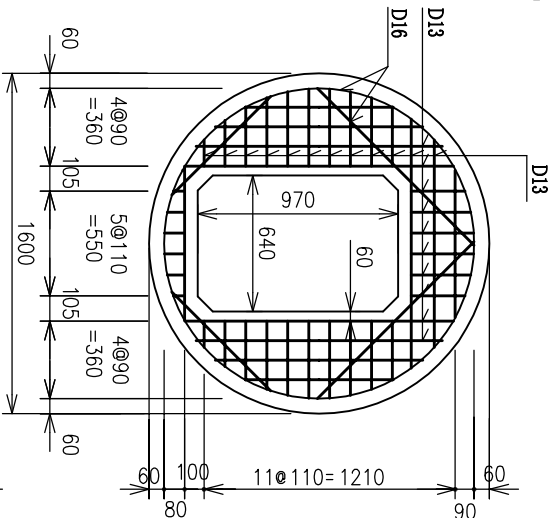
参考図番号	No.11
参考図名称	排水設備工(排水室V型)
東京都水道局	

単位(mm)

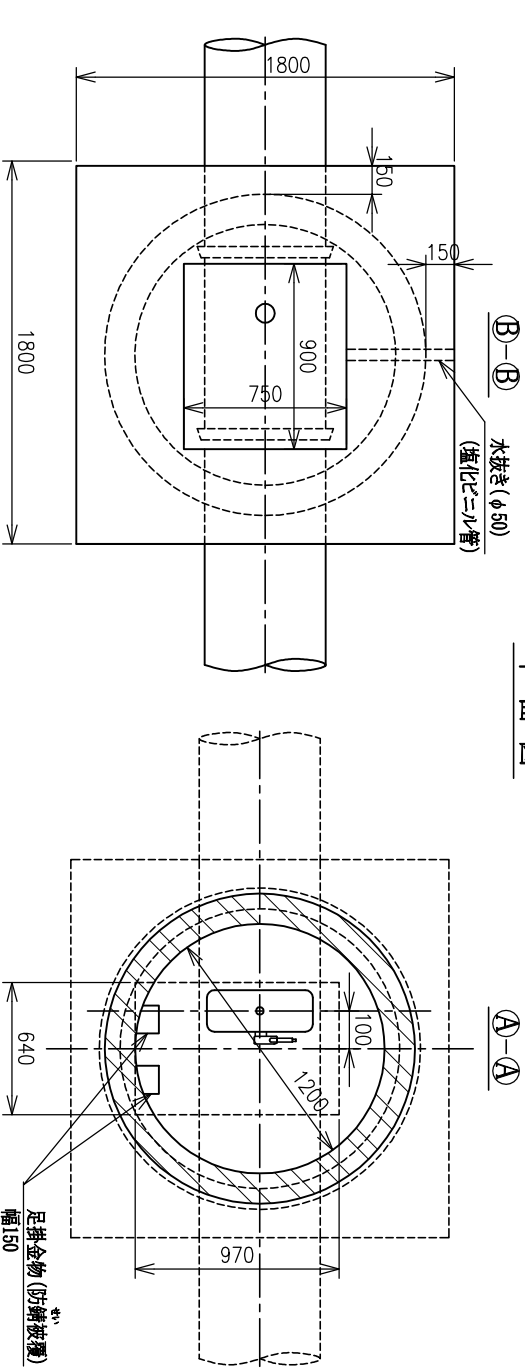
断面図



頂版



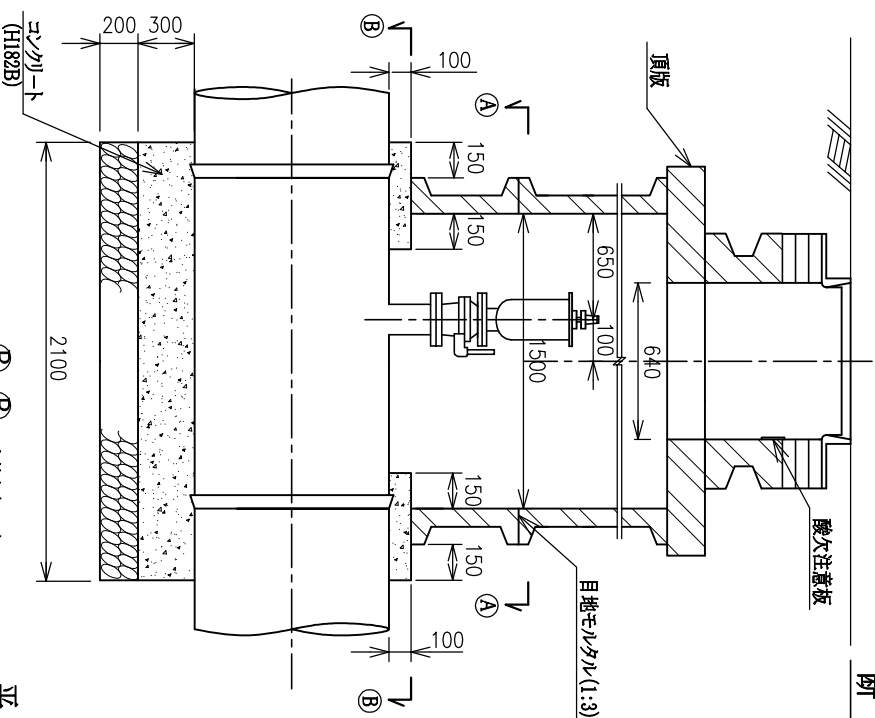
平面図



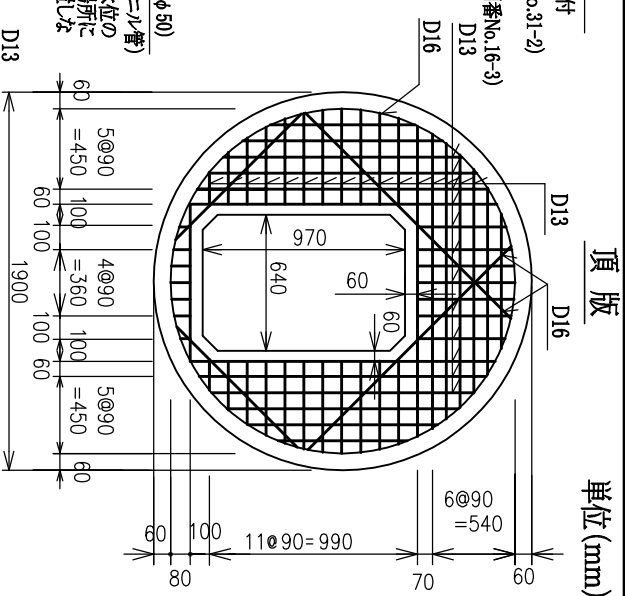
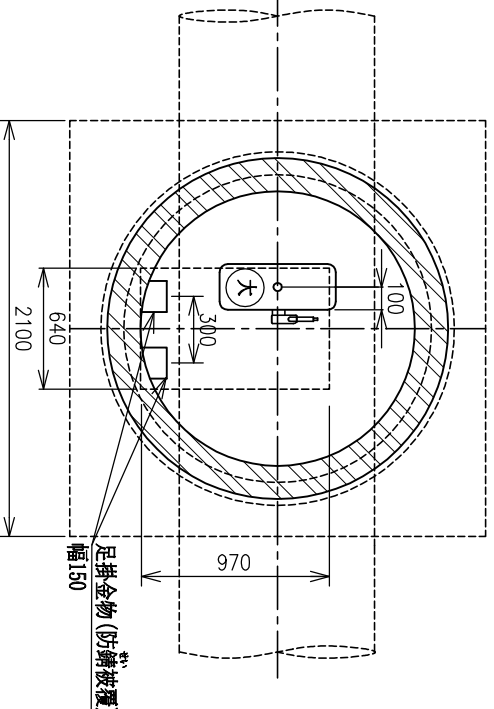
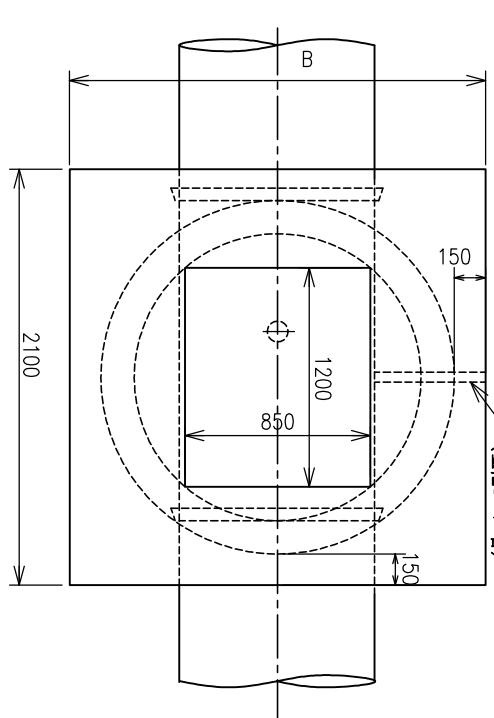
- (備考)
- 1 本図は、呼び径400mmから600mmまでに適用する。
 - 2 側塊は、プレキャストコンクリート製品 (JIS A 5372) の600Hと300Hを組み合わせて使用する。
 - 3 土かぶりが多い場合は、空気弁と仕切弁の間にフランジ短管を使用する。
 - 4 最上段の足掛金物は、地表から安全に昇降できるよう配慮して設置するとともに、足掛金物の設置間隔は30cm程度とすること。
 - 5 水抜きパイプは地下水位の高い場所には設置してはならない。
 - 6 調整フロックの高さが300mmを超える場合は、頂版の上部に側塊の設置を検討する。
 - 7 弁のシール(キャパ)には、白色蛍光塗料を塗布する。

参考図番号	No.15
参考図名称	双口空気弁室築造工 (口径75mm)
東京都水道局	

断面図



平面図



頂版

単位(mm)

(備考) 1 本図は、呼び径700mm以上に適用する。なお、人孔T字管使用の場合も本図に準ずる。

2 呼び径と空気井口径について

呼び径	空気井口径
700~900	100
1000~1500	150
1600以上	200

3 基礎コンクリート幅(B)について

呼び径	B
1500以下	2100
1600以上	D+600

4 側塊は、フレイヤストコンクリート製品 (JIS A 5372) の600Hと300Hを組合せて使用する。

5 土かぶりが多い場合は、空気弁と仕切弁の間にランジ短管を使用する。

6 最上段の足掛金物は、地表から安全に昇降できるよう配慮して設置するとともに、足掛金物の設置間隔は30cm程度とする。

7 空気弁口径150mm以上はフランジ切弁(ベンドル式)調整フロッツの高さが300mmを超える場合は、頂版の上部に側塊の設置を検討する。

8 本図はランジタイプの急速空気弁にも適用する。

9 井のセメントM&Cには、白色蛍光塗料を塗布する。

参考図番号 No.16

参考図名称 双口空気弁室築造工 (口径100mm~200mm)

東京都水道局